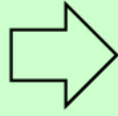


# 情熱フラワー「ひまわり」による経営安定の取組 ～立蔵 俊一 氏～

## 経営体の概要

事業実施前：昭和55年  
基幹作物：水稲、小麦



事業実施後：令和元年  
基幹作物：水稲、ひまわり、小麦  
ジャンボカボチャ

経営面積：9.5ha

経営面積：13.2ha

## 取組の経緯と経営転換のポイント等

水稲・小麦を中心とした経営を行っているが、経営の安定・向上を目指して、平成9年から高収益作物である花き（切り花）を導入し、さらに、本事業及び関連事業が完了し、用水の安定供給と生産基盤が整備され、農作業の効率化、省力化も図られたことを契機に、花きの作付面積の拡大を進め、平成27年からひまわりに特化した水稲・花きの複合経営により収益力向上を実現している。

## 営農改善のポイント

### ①栽培技術の確立・向上

ひまわりの水管理は一番重要な栽培技術であるが、平成22年頃より、土壤灌注式かん水（用水ホースに土中に灌注する器具を付けてかんがいくかん水技術）を取り入れたことによって、茎の伸長促進、均一化が図られ高品質な生産を実現している。



ひまわりの作付

### ②単収・品質の向上

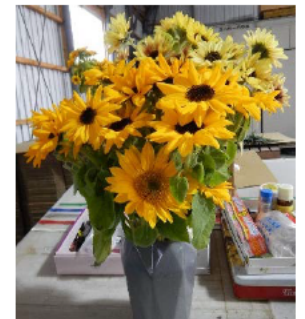
用水の安定的な供給や関連事業による基盤整備によって、排水性が改善し田畑輪換が可能となり、水稲は乾田化効果によって施肥量を半減しても単収は570～600kg/10aと約10%増収した。小麦は、連作障害の改善、作付品種の変更もあって、単収は600kg/10a以上と整備前より30%以上の増収となっている。



小麦の収穫作業

### ③流通・販売の工夫

切り花としてのひまわりの需要は高く、「情熱フラワー」ブランド名で本州市場へ流通している。栽培は2月下旬から順番に播種が始まり10月末までに収穫が完了する2回転の栽培方法が取られ、栽培時期に応じて7品種の作付を行い、出荷は冷蔵庫に入れて開花調整するなど、需要に応じた栽培体系を確立している。



多品種のひまわり

## 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
関係市町：北海道石狩郡新篠津村、岩見沢市（旧栗沢町、旧北村含む）、美唄市、赤平市、三笠市、砂川市、空知郡南幌町、同郡奈井江町  
受益面積：27,027ha  
事業期間：昭和54年度～平成23年度（空知中央地区）  
平成10年度～平成25年度（空知中央用水地区）  
事業目的：用水改良、排水改良、畑地かんがい  
主要工事：頭首工2箇所、揚水機5箇所、用水路233.5km、排水路63.3km、調整池1箇所

## 位置図（北海道）



空知中央地区  
空知中央用水地区

<問い合わせ先>  
北海道開発局 農業水産部  
農業振興課 調整係  
電話：011-709-2311  
(内線5684)

(令和元年度調査時点)